

大型天板踏み台 2段・3段

大型天板踏み台ワイド 踏み台 2段・3段

【取扱説明書】

JAN:4549509 942351 (2段) 4549509 942368 (3段) color: シルバー  
 4549509 942375 (ワイド2段) 4549509 942382 (ワイド3段) color: シルバー

「安全上の注意とお願い」

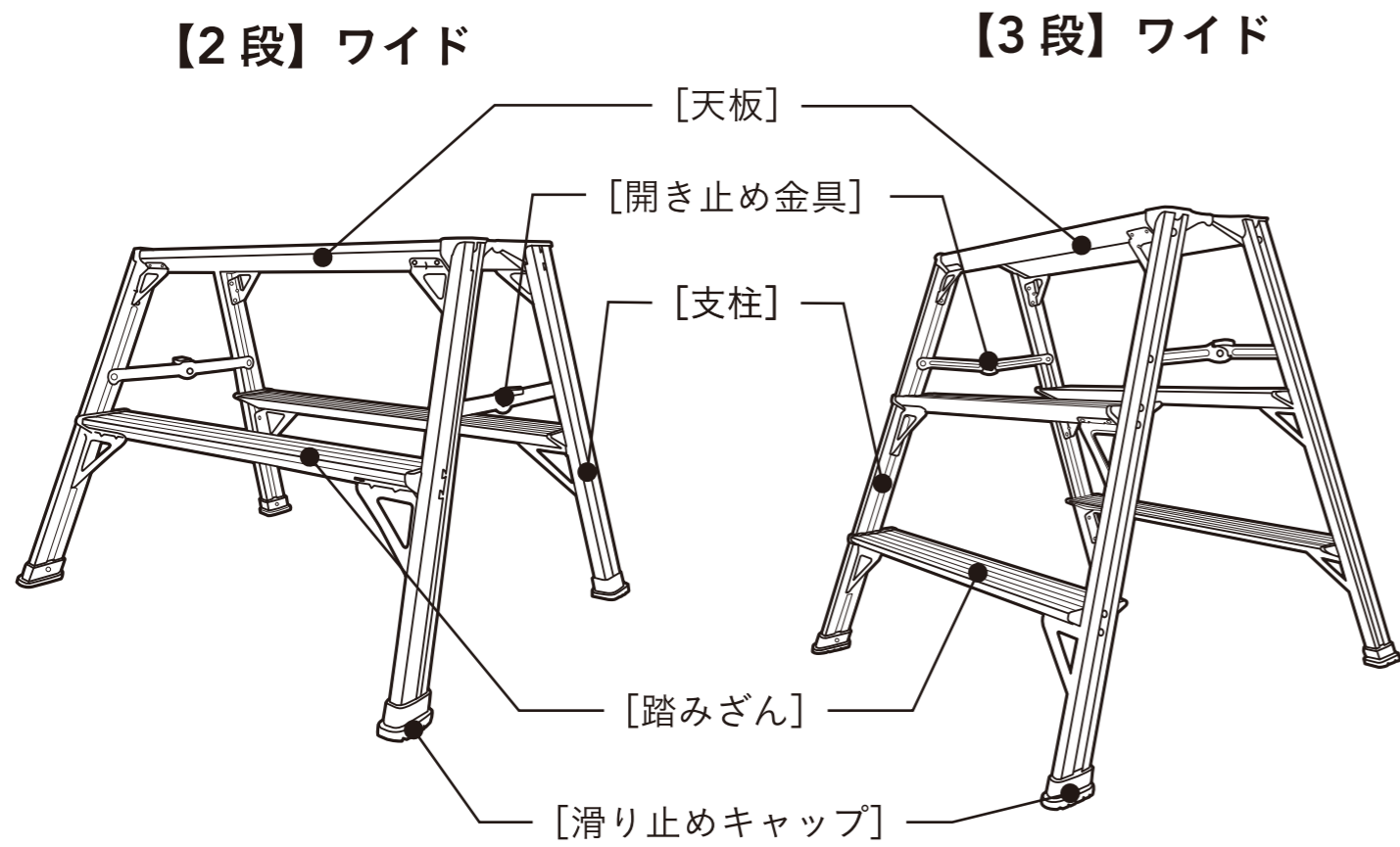
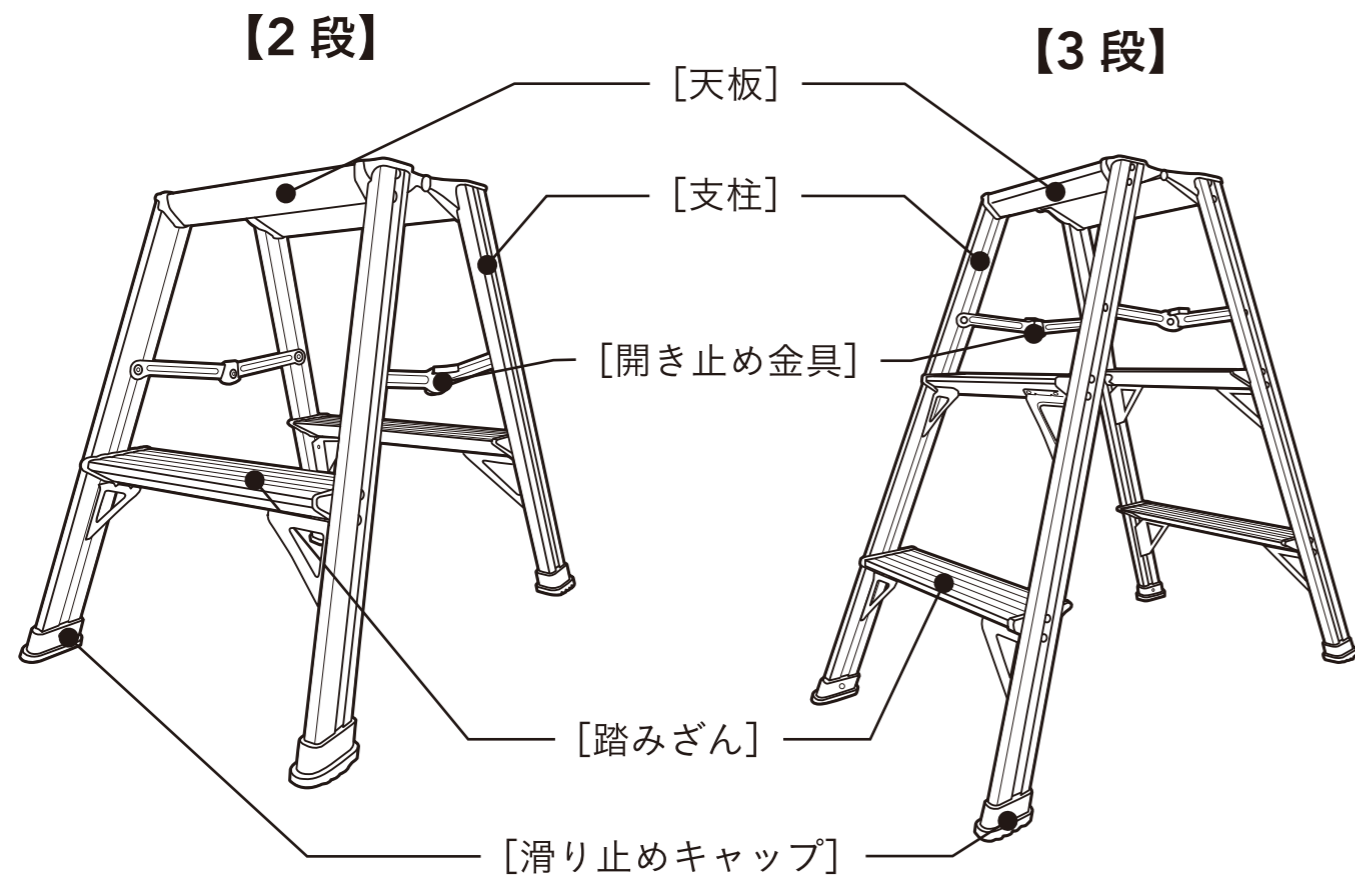
このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品を長く使用するために、使用前にこの取扱説明書を最後まで読み、正しく使用してください。

なお、読んだ後も、使用する方がいつでも確認できるところに大切に保管してください。用途以外で使用した場合の故障、修理、事故、その他の不具合については責任を負いかねます。

品名	型番	品質表示
大型天板踏み台 2段	CFF-06	材 質：本体/アルミニウム合金 開き止め金具/スチール 滑り止めキャップ/塩化ビニル樹脂 部分パーツ/ポリプロピレン、塩化ビニル樹脂 使 用 時：(約)幅 465×奥行 655×高さ 560mm 折りたたみ時：(約)幅 465×奥行 240×高さ 640mm 使用時天板奥行：(約)250mm 踏 み ざ ん：(約)100mm 1 段 目 高 さ：(約)240mm 耐 荷 重：(約)100kg 本 体 重 量：(約)2.6kg
大型天板踏み台 3段	CFF-07	材 質：本体/アルミニウム合金 開き止め金具/スチール 滑り止めキャップ/塩化ビニル樹脂 部分パーツ/ポリプロピレン、塩化ビニル樹脂 使 用 時：(約)幅 525×奥行 875×高さ 860mm 折りたたみ時：(約)幅 525×奥行 240×高さ 964mm 使用時天板奥行：(約)250mm 踏 み ざ ん：(約)100mm 1 段 目 高 さ：(約)240mm 2 段 目 高 さ：(約)550mm 耐 荷 重：(約)100kg 本 体 重 量：(約)3.8kg
大型天板踏み台ワイド 2段	CFF-08	材 質：本体/アルミニウム合金 開き止め金具/スチール 滑り止めキャップ/塩化ビニル樹脂 部分パーツ/ポリプロピレン、塩化ビニル樹脂 使 用 時：(約)幅 787×奥行 660×高さ 555mm 折りたたみ時：(約)幅 787×奥行 240×高さ 635mm 使用時天板奥行：(約)250mm 踏 み ざ ん：(約)100mm 1 段 目 高 さ：(約)275mm 耐 荷 重：(約)100kg 本 体 重 量：(約)3.7kg
大型天板踏み台ワイド 3段	CFF-09	材 質：本体/アルミニウム合金 開き止め金具/スチール 滑り止めキャップ/塩化ビニル樹脂 部分パーツ/ポリプロピレン、塩化ビニル樹脂 使 用 時：(約)幅 830×奥行 830×高さ 797mm 折りたたみ時：(約)幅 830×奥行 240×高さ 892mm 使用時天板奥行：(約)250mm 踏 み ざ ん：(約)100mm 1 段 目 高 さ：(約)237mm 2 段 目 高 さ：(約)517mm 耐 荷 重：(約)100kg 本 体 重 量：(約)5.5kg

## 各部の名前



## 使用後の手入れと保管方法

### お手入れ方法


- 踏み台にとって、泥、セメント、石灰、海水などは大敵です。いつもきれいにしてください。
  - 汚れは水で湿らせた布できれいにふき取ってください。
  - 汚れが著しい場合は、水洗いした後、乾いた布でふき取り、乾燥させてください。
  - 油系の汚れは中性洗剤で落とした後、洗剤が残らないように、きれいにふき取ってください。
- ※クリーナーや洗剤をつけたままにしていると腐食の原因になります。


### 保管方法


- 雨や直射日光の当たらない、風通しが良く乾燥した場所で保管してください。
  - 踏み台が濡れているときは、必ず乾燥させてから保管してください。
  - 支柱端部（滑り止めキャップ部分）を長時間床面に直接触れる保管はしないでください。滑り止めキャップの色が直接物に移るおそれがあります。
- ※保管中は変形の原因になりますので、本製品の上に物を置かないでください。


### 【表示マークについて】


取扱説明書や製品に貼付けされたラベルに記載されている表示マークの説明内容は、安全に使用していただく上で大変重要な項目です。必ず守ってください。

 **危険** ..... 記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故が発生する危険性が特に高いことを示しています。

 **警告** ..... 記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が発生する危険性があることを示しています。

 **注意** ..... 記載されている内容を守らなければ、ケガや製品破損につながる可能性があることを示しています。

 ..... この表示マークはしてはいけないこと（禁止事項）を示しています。  
**禁止**

 ..... この表示マークは使用前・使用中に必ずしなければならないこと（強制事項）を示しています。  
**強制**

## ▲ 使用上の注意

※ここに記載された注意事項は必ず守ってください。  
死亡やケガなどの重大な事故や製品の破損が生じるおそれがあります。

- ▲ 注意** ● 貼付けしてある注意ラベルがなくなったり、読めなくなった製品は使用しないでください。必ずお買い上げの店舗でお問い合わせの上、新しいラベルを取寄せてください。ラベル記載の内容を理解し、正しい元の位置に貼ってから使用してください。

- ▲ 注意** ● 作業に適した服装で使用してください。ロングスカート、エプロンなどの服装の場合、昇り降りや作業中に製品が引っかかったり、すそを踏みつけてバランスを崩し、転倒、転落のおそれがあります。(図1)



- ▲ 注意** ● 滑りやすい履物をはいていますと、足を滑らせて転倒、転落のおそれがあります。スリッパ、ナイロン製の靴下など、滑りやすいものは脱いで使用してください。(図2)



- ▲ 注意** ● 使う前に必ず「使用前の確認」をおこない、異常のないことを確認してください。異常を発見したときは絶対に使用しないでください。(図3)



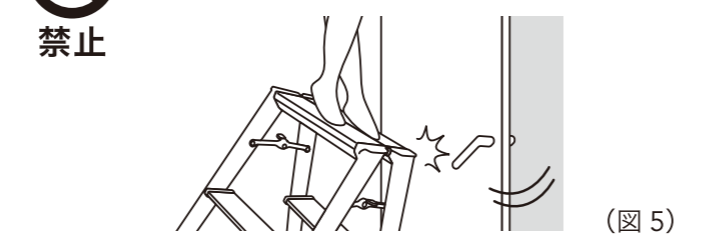
- ▲ 注意** ● 曲がったり凹んだアルミ材は大変弱くなり、変形した製品を修理、改造して使用すると、折れ曲がったりして重大事故の原因となります。

- ▲ 注意** ● 本製品を他の人に貸し出すときには、この取扱説明書を一緒に渡してください。
- ▲ 注意** ● お子様や取扱説明書の内容がよく理解できない方には使用させないでください。
- ▲ 注意** ● 持ち運ぶときは電源コードなどに引っかからないように注意してください。本製品は電気を通すので感電するおそれがあります。

- ▲ 注意** ● 周囲に危険なものや、頭上に障害になる物がある場合には設置しないでください。転倒、ケガのおそれがあります。(図4)

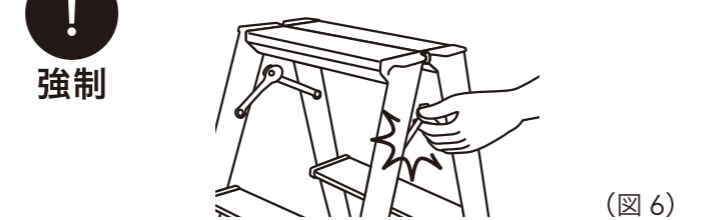


- ▲ 注意** ● 人の行き交う場所やドアの前に設置しないでください。開かれたドアで転倒、転落事故のおそれがあります。(図5)



- ▲ 注意** ● 雨の中や風の強い場所での使用はしないでください。濡れた天板、踏みざんで滑ったり、強風を受けて身体の安定を失い、転倒、転落事故のおそれがあります。
- ▲ 注意** ● 足元や周囲がはっきり見えない暗い場所では、足を踏み外したり、危険物に気づかず転倒、転落事故になるおそれがあります。

- ▲ 注意** ● 踏み台を開閉するときは、開き止め金具などで手を挟まないように注意してください。(図6)



- ▲ 警告** ● 室内で使用する際は、材質によってはフローリングなど床面にキズがつくおそれがありますので、安定した場所で使用してください。

## 使用方法

### 1. 設置場所

- 平坦で滑りにくい安定した場所、および踏み台が埋もれない場所を選んで設置してください。
- 踏み台の周りに危険なものがなく、安定した作業の姿勢が保てる位置に設置してください。
- 強い風を受けない場所、または雨や水のかからない場所に設置して作業をしてください。
- 設置後に踏み台にガタツキがないか確認してください。ある場合には踏み台の設置位置を変えて、ガタつかない位置に設置してください。(図23)

- 雨や水がかからない場所
- 平坦で安定した場所
- 設置後はガタツキがないか確認
- 滑りにくい場所
- 踏み台の周囲にある危険なものは取除く。
- 踏み台が埋もれない場所

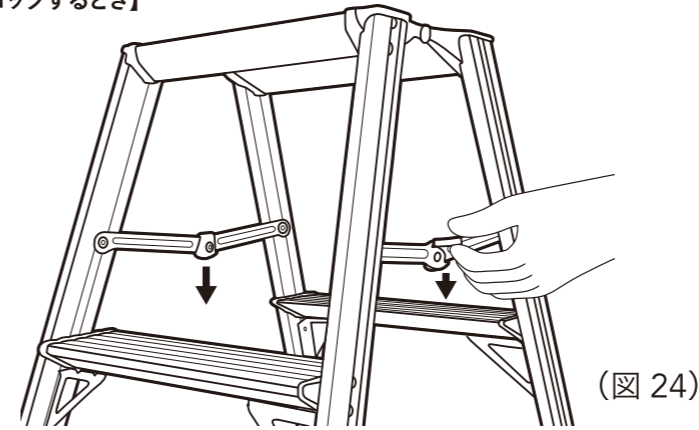


### 2. 開閉の方法

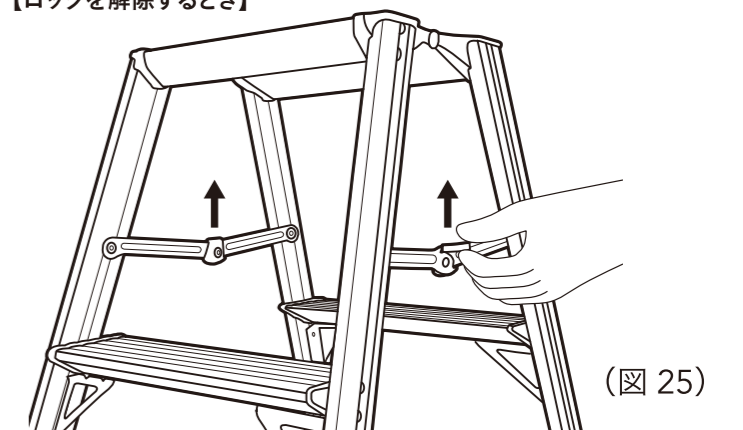
開閉は乱暴に扱うと回転部で手を挟んだり、踏み台の変形、破損の原因となります。閉じるとき、開き止め金具のロックを解除せずに折りたたみますと、変形、破損の原因となります。

- 踏み台を開くときは、踏みざんを両手に持って、ゆっくりと左右に開いてください。
  - 踏み台を開いた後、左右の開き止め金具を押し下げて確実にロックしてください。(図24)
  - 踏み台を閉じるときは、開き止め金具を上押し上げて、ロックが解除されたのを確認した後、ゆっくり折りたたんでください。(図25)
- ※開閉時に開き止め金具に手を挟まないように十分に注意してください。

【ロックするとき】

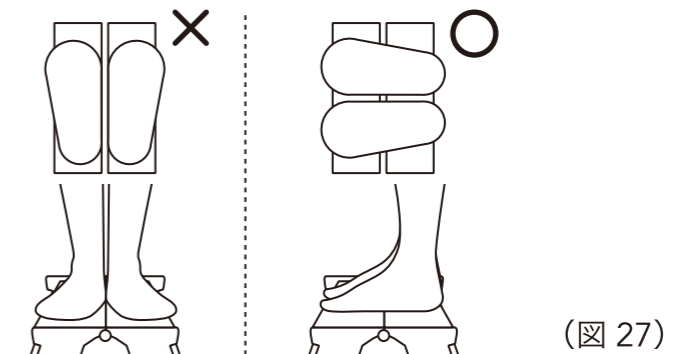


【ロックを解除するとき】



### 3. 昇り降りと作業の仕方

- 踏み台に昇る前に、必ず開き止め金具が確実にロックされた状態であることを確認してください。
- 踏み台の昇降面に対し、身体を正面に向けて静かに昇り降りしてください。
- 素足か運動靴などの滑りにくい履物をはいて使用してください。
- 天板の上に立って作業をするとき、身体が天板からはみ出さないようにしてください。
- 天板に立つときは、両足が天板の中央にくる位置で、足が前後の天板にまたがるように立ってください。(図27)



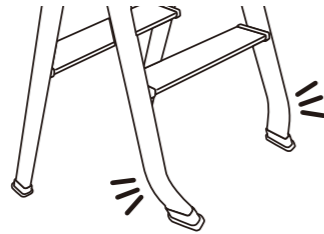
※踏み台を移動するときは、必ず踏み台から降りて移動してください。  
※降りるときには飛び降りずに1段ずつ踏みざんに足をかけ、最下段の踏みざんまで使って静かに降りてください。

## 使用前の確認

踏み台を使用する前に、次の項目にしたがって点検を行い、異常のないことを確認してください。また異常を発見した場合は直ちに使用を中止してください。

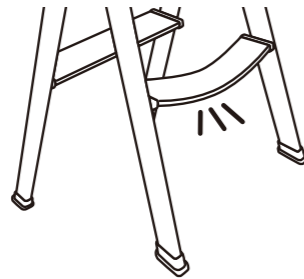
### 1.目で見てする点検

- 天板、踏みざん、支柱に油、泥、雪、水など滑りやすくなるものがついていないか確認してください。ついている場合は完全にふき取ってください。
- 支柱の曲がり、凹み、ねじれなどが無いことを確認してください。これらが発見した場合は、絶対に使用しないで廃棄してください。(図19)



(図19)

- 踏みざんに曲がり、凹みのないことを確認してください。これらが発見した場合は、絶対に使用しないで廃棄してください。(図20)

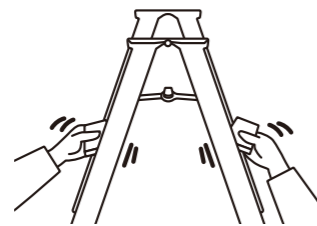


(図20)

- 各部の接合部に割れ、浸食のないことや、取付け部品の破損、脱落、変形、腐食のないことを確認してください。これらが発見した場合は絶対に使用しないでください。
- リベット、ネジなどの取付け金具のゆるみ、脱落のないことを確認してください。発見した場合は、絶対に使用しないで廃棄してください。
- 滑り止めキャップがすり減ったり、脱落のないことを確認してください。発見した場合は、絶対に使用しないでください。

### 2.触ってする点検

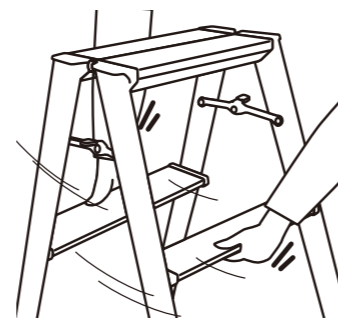
- 天板および踏みざんにガタツキのないことを確認してください。ガタツキを発見した場合は、絶対に使用しないで廃棄してください。(図21)



(図21)

### 3.支柱を開閉して点検

- 滑らかに開閉できるか確認してください。滑らかでない場合は、左右の開き止め金具にゴミ、泥などの異物が噛んでいないか点検してください。異物のある場合にはそれを取除き、それでも直らない場合には、開き止め金具に破損、変形がないかを確認してください。破損、変形のある場合は絶対に使用しないで廃棄してください。(図22)
- 開き止め金具が確実にロックするか確認してください。確実にロックできない場合、絶対に使用しないで廃棄してください。
- 左右開き止め金具にゆるみ、ガタツキのないことを確認してください。ガタツキのある場合は、開き止め金具の外れが考えられ、事故の原因となり非常に危険ですので、絶対に使用しないで廃棄してください。



(図22)

## 警告

※記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が発生する危険性があることを示しています。



- 本製品は、高い所で作業をするための踏み台です。用途以外の使用や誤った使用をしますと、転倒、転落により重大な事故になるおそれがあります。



- 体重と荷物の合計が、最大使用荷重を超える使用は絶対しないでください。また、身体の安定を確保できる重さ、大きさの荷物に限ってください。



- 本製品を自分で加工、改造、修理をしないでください。重大な事故を起こすおそれがあります。
- 身体の状態が正常ではないときは使用しないでください。踏み台の使用時に身体の安定が保てず、転倒、転落事故のおそれがあります。
  - ・葉やお酒を飲んだ時
  - ・病気や妊娠している時
  - ・疲れを感じる時
  - ・身体に異常を感じる時



- 踏み台を設置する地面や床が滑りやすい状態では、転倒、転落事故のおそれがありますので、絶対に使用しないでください。(図7)
  - ・濡れている床
  - ・砂、ホコリ、落ち葉などで滑りやすい床
  - ・積雪、凍結した地面
  - ・油のこぼれた床
  - ・その他滑りやすい場所



(図7)



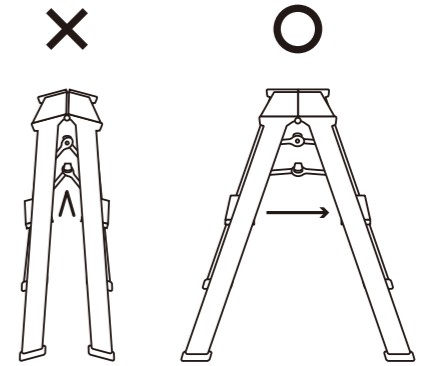
- 踏み台が安定しない場所での設置は、踏み台が傾いて転倒、転落事故のおそれがあります。(図8)
  - ・じゅうたんなどの柔らかい床
  - ・ぬかるんだ地面
  - ・段差や凸凹の安定しない地面
  - ・傾いた床、地面や屋根の上
  - ・雪の積もった地面
  - ・その他安定しない場所



(図8)



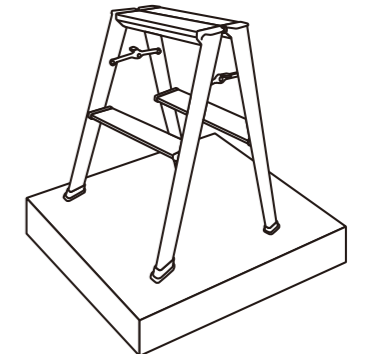
- 開き止め金具を確実にロックし、踏み台が完全に開いた状態で使用してください。ロックが不完全な場合、脚が閉じて安定を失い、転倒、転落事故のおそれがあります。(図9)



(図9)



- 踏み台を台や箱の上に設置しないでください。台、箱などが動いて転倒、転落事故のおそれがあります。(図10)



(図10)



- 踏み台を折りたたんだまま、壁などに立てかけた状態で使用しないでください。不安定な使用のため壁を傷つけたり、安定を失い転倒、転落のおそれがあります。(図11)



(図11)

## 昇降作業時の注意事項

**⚠ 危険** ※記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故が発生する危険性が特に高いことを示しています。

- 天板の上で作業をするときは、天板の端に立つことやつま先立ち、片足立ちなどは絶対にしないでください。安定を崩して転倒、転落事故のおそれがあります。天板に立って作業をするときは、天板の中央に立って作業をしてください。(図12)



(図 12)

**⚠ 注意** ※記載されている内容を守らなければ、ケガや製品破損につながる可能性があることを示しています。

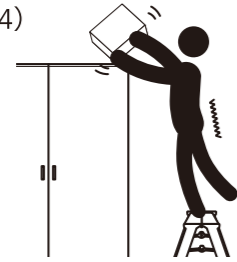
- 飛び乗り、飛び降りには絶対にしないでください。製品の破損やケガのおそれがあります。(図13)



(図 13)

**⚠ 警告** ※記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が発生する危険性があることを示しています。

- 踏み台から身体を乗り出して作業をすると、安定を崩し転倒、転落事故のおそれがあります。絶対に身体を乗り出しての作業はしないでください。(図14)



(図 14)

- 身体の安定を保てない大きな荷物を持ち、昇り降りしないでください。身体の安定を崩し、転倒、転落事故のおそれがありますので、そのような荷物の場合は踏み台の昇り降りを済ませて、補助者が荷物を手渡すようにしてください。(図17)



(図 17)

- 天板の上では絶対に移動しないでください。安定を崩し、転倒、転落事故のおそれがあります。
- 天板、踏みざんの上で作業中に壁を無理に押ししたり、物を引いたりすると反動の力で身体の安定を崩し、転倒、転落事故のおそれがあります。(図15)



(図 15)

- 作業中に踏み台を移動する場合、一旦踏み台から降りて、手で持って移動してください。
- 踏み台に背を向けて、昇り降りしないでください。身体の安定を失い、転倒、転落事故のおそれがあります。
- 2台の踏み台の間に板を掛け渡して足場などに使用しないでください。踏みざん、天板が破損や変形を起こし、踏み台が安定を保てなくなり、転倒、転落事故のおそれがあります。(図18)



(図 18)

- 踏み台には同時に2人以上乗らないでください。踏み台が安定を失って、転倒、転落事故のおそれがあります。(図16)



(図 16)

- 本製品に異常が発見されても、手直しや補修を自分では絶対にしないでください。一旦変形したアルミ本体や鉄金具は強度が落ちており、補修しても元の安全な強度には戻りません。本体や金具の破損により、転倒、転落など人身事故発生のおそれがあります。